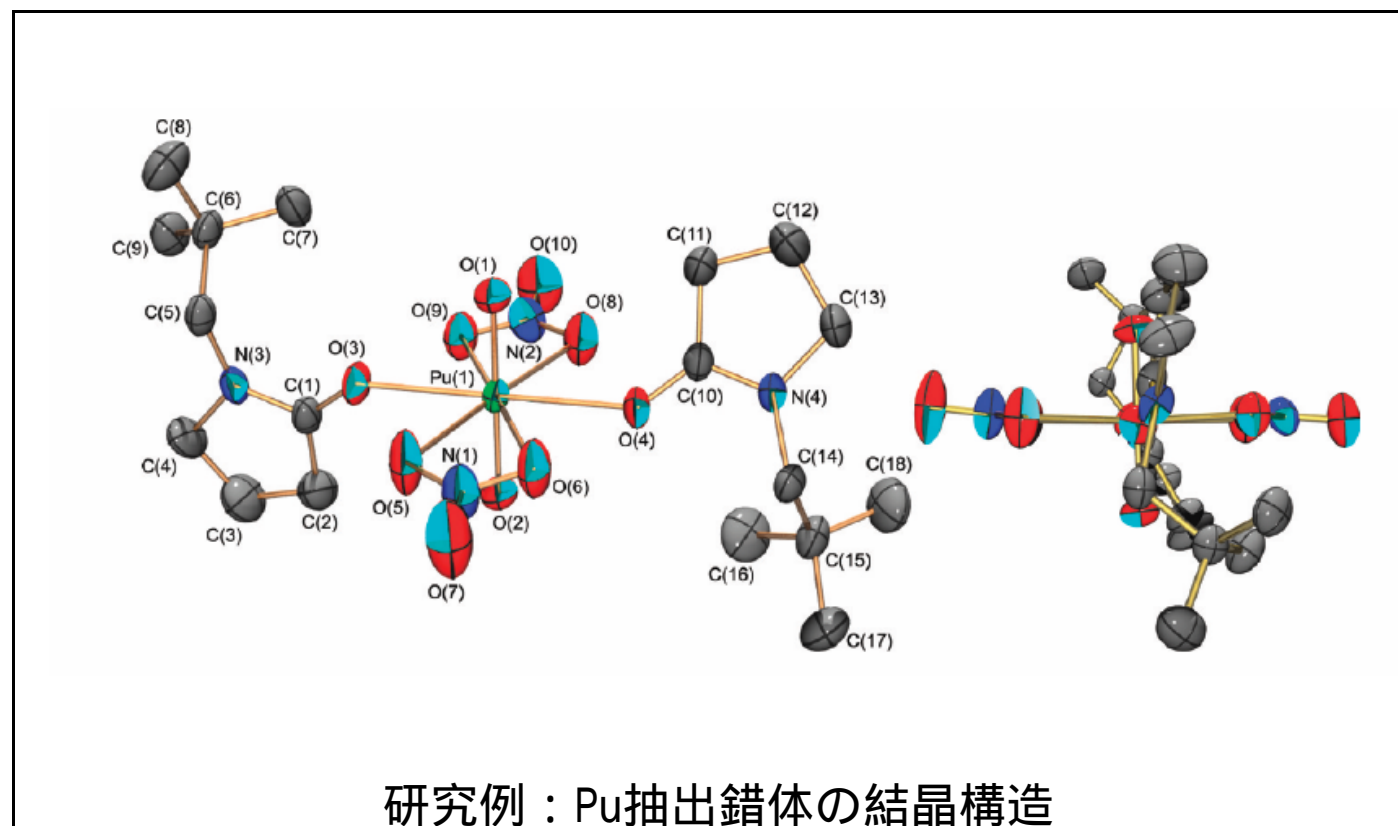


施設名	単結晶X線回折装置
略 称	
英語名	Single-crystal X-ray diffractometer
目 的	0.05 mm程度の微小結晶を用いて固体の原子座標、格子定数等の結晶構造パラメータを決定する。
場 所 (施設管理担当部署及び連絡先)	第4研究棟302号室 先端基礎研究センター 芳賀(81-3526)
施設の利用研究例	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに発見された超伝導体NpPd5Al2の結晶構造決定 ・新規再処理抽出剤アクチノイド錯体の結晶構造決定 ・また、ビームサイズが最小 0.1mmまでしぼれることを利用し、微小領域のX線回折・分析に応用する事ができる。例えば、UO2ペレットに介在する析出物の分析等。
経 緯	平成16年に設置、運転を開始した。以降常時稼働しており、通常1日あたり1個の試料の分析が可能。
設備(装置)の概要(能力)	Mo管球(グラファイト湾曲モノクロメータ) イメージングプレートディテクタ 未知構造解析、最適化ソフトウェア 試料一個あたりの測定時間:6-10時間程度
規制法令	特になし
備 考	



単結晶X線回折装置



研究例: Pu抽出錯体の結晶構造